

様式第 4 号

課題名	下部消化管内視鏡検査における横行結腸挿入困難例に対する右側臥位の浸水法の有用性の検討
承認番号	2022-44 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 消化器内科 氏名 池宮城秀和
研究期間	(西暦) 2021 年 4 月 ~ (西暦) 2024 年 3 月
研究の意義・目的	横行結腸の大腸内視鏡の挿入が困難な患者さんに、右側臥位による浸水法という大腸内視鏡の挿入方法が有効であるかを、統計学的に有効性を示す事により手技の普及に寄与し、大腸内視鏡検査を受ける患者さんの苦痛の軽減につながる可能性があります。
研究の方法 (対象期間含む)	大腸内視鏡検査で左半分の大腸にループ形成を残す事なく挿入する事が出来た患者さんの中で、体位変換、腹部の圧迫、静脈麻酔のいずれを用いても、右半分の大腸の形状を直線化できない、内視鏡の抵抗が強く内視鏡が進まない、痛みが強く検査継続できないなどの理由で内視鏡が通過することが出来なかった患者さんに対し、右側臥位による浸水法という大腸挿入法を選択することにより、実際に右半分の大腸を内視鏡が通過可能になるかどうかを統計学的に検討させていただきます。左側臥位の浸水法は、左半分の大腸で確立されている挿入法です。横行結腸での利用も報告されています。今回の検討は、右半分の大腸で右側臥位の浸水法の有用性を検討します。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他 施設へ提供される場合は その方法を含む)	通常の大腸内視鏡検査を行う中で横行結腸挿入困難例に対し、右側臥位の浸水法を選択した例について、年齢、体重、手術歴、内視鏡検査レポート、内視鏡画像を利用させていただきます。研究にあたっては、研究用の ID と病院の患者さん ID を専用の対応表で結び付け、匿名化します。対応表は、外部から切り離された電子カルテ内のファイルサーバー内に保存し、外部に持ち出すことのないよう取り扱います。匿名化した情報はファイルにパスワードを設定し、パスワード設定したパソコン内にて厳重に管理します
利用又は提供する 試料・情報の項目	年齢、体重、手術歴、内視鏡検査レポート、内視鏡画像
試料・情報を 利用する者の範囲	横浜市立みなと赤十字病院 消化器内科 池宮城秀和
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	横浜市立みなと赤十字病院 消化器内科 池宮城秀和
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 消化器内科 氏名 池宮城秀和 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101